

| 質問事項 | 質問の要旨 |
|-----------------------------------|--|
| <p>1 中心部行政地区の整備 と高台地区の地番は</p> | <p>住環境の整備は、この復興の中でも再重要な課題 であります。本年度末には、宅地並びに災害公営住 宅の供給率が65%までの計画となっています。今、 まさに本町全体がその建設工事に大きく邁進してい る状況であります。</p> |
| | <p>これからの新しい住環境では、とりわけコミュニ ティーが重要となります。その要の一つが行政区単 位のコミュニティーだと思われます。</p> |
| | <p>そこで、次の点について伺います。</p> |
| | <p>(1) 中心部行政区割りの基本的な考え方と新行政 区が示されましたが、これは決定な のでしょうか。</p> |
| | <p>(2) 新行政区の集会所建設の規模等についての考 え方・基準はどうなっていますか。</p> |
| | <p>(3) 高台地区の新地番（住所地）は、いつ決定し ますか。決定するまでの住所はどうなりますか。</p> |
| | <p>(質問の相手：町長・担当課長)</p> |
| | |
| | |
| | |
| | |

| 質問事項 | 質問の要旨 |
|------------------------|---|
| <p>2 町民バス運行の柔軟な対応を</p> | <p>町民の生活、とりわけ医療センターへの足としての町民バスは、町民にとっては欠かせない交通手段となっています。</p> <p>町民バスの時刻表については、適時変更をしているところではありますが、本年度は特に、中心部、離半島部とも仮設住宅から災害公営住宅及び自立再建住宅へと、新たな居住地への移動が頻繁な年になります。</p> <p>そこで、伺います。</p> <p>(1) 新居住地区への町民バス運行の対応は。</p> <p>(2) 医療センターへの進入口変更が7月上旬に予定されていますが、この国道398号バイパスは朝夕の渋滞地点であります。女川牡鹿線との交差地点(信号機)からの進入は出来ないのでしょうか。</p> <p>(質問の相手：町長・担当課長)</p> |